

## 平成 30 年度第 4 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 30 年 8 月 25 日（土） 9 時 30 分～12 時 30 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 集会室
- 3 出席者 子ども会議委員 12 名（欠席者 17 名）  
子どもサポーター1 名（欠席者 3 名）  
事務局 3 名
- 4 活動内容
  - ・子ども会議フォーラムのサブタイトルについて
  - ・子ども会議フォーラムのポスターについて
  - ・子ども会議フォーラム第二部の内容について
  - ・各グループ打ち合わせについて

### 5 開催概要

4 回目子ども会議です。今日は子ども会議フォーラム全体の進行に必要な事項を話し合っていきます。

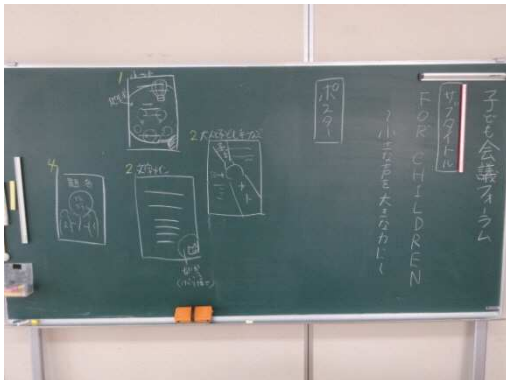
今日の進行役を決めてから話し合いを始めます。

まずはフォーラムのサブタイトルからです。

青森に対する愛を感じる「あいらぶあおもり」、子どもらしくて前向きな「子どもにできること」など 5 つの案が出され、その中から「小さな声を大きな力に」に決まりました。子どもならではの視点から意見表明し、社会をよりよくしようという前向きな意思が感じられます。



次に、子ども会議フォーラムのポスター案を考えました。



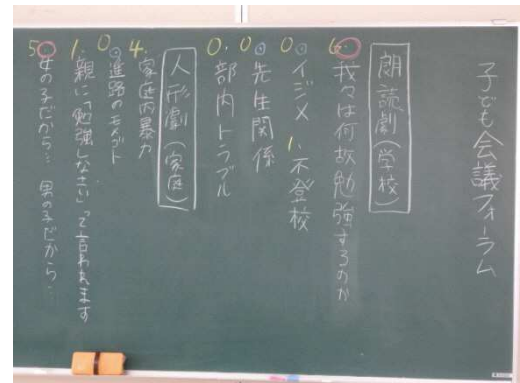
地球をモチーフにした壮大なもの、大人と子どもが手をつないだもの、文字がメインのもの、大きな風船を男の子と女の子が二人で持っているものなどが案として上がり、風船のものが決定案になりました。

この案を基にポスターを作成します。子どもたちが手を取り合って、夢が膨らむようなものになるのでしょうか。すてきなものができるといいですね。

その次に、子ども会議フォーラムの第二部の内容について話し合いました。前回、朗読劇は学校関係、人形劇は家庭関係をテーマとする事まで決定し、今回はもう少し詳細を決めていきます。

朗読劇の具体的な内容について検討し、いじめや先生との関係、部活関係などが候補として上がりましたが、「我々は何故勉強するのか」というテーマに決まりました。子どもなら当然持つ疑問ですね。多数決で圧勝でした。

人形劇の方は、家庭内暴力、進路のもめごと、親からの勉強に関する小言などが上がる中、「女の子だから、男の子だから」というテーマに決まりました。これは親から、「女の子（男の子）だから、これくらいやりなさい」「女の子（男の子）だから、我慢しなさい」などと言われることに対して、性別で親から強制されて納得できないものについて話し合おうというものでした。



また、人形作成の注意点として、人形両面の絵ははみ出さないように気を付けることや、人形をひっくり返すと口が開いたり表情が変わったりするので、動きを覚えるのが難しいことなどをサポーターからアドバイスしてもらいました。

残った時間で、各グループの準備を進めました。

運動グループは、10月に開催するスポーツイベントのスケジュールをまとめました。

食グループは、前回の調理実習の状況を振り返り、子どもが簡単にしかもおいしく作れるメニューに重点を置き、もう少しレシピを工夫しようという話になりました。温かいそばに野菜の炒め物をのせるようなイメージになりそうです。また、次回の子ども会議の時に、あおもり海道そばの現地調査に行くことを検討しました。

まちづくりグループは、調査に行く喫茶店などをピックアップし、3つの班に分かれ9月22日までに調査することに決めました。また、パンフレットのイメージの相談などもしていました。

以上で会議は終了しました。次回は引き続き子ども会議フォーラムの準備、現地調査などの予定です。

